

CAP(キャップ)とは?

Child Assault Prevention
子ども 暴力 防止

子どもが、いじめ、誘拐、性暴力など、さまざまな暴力から自分の心とからだを守る暴力防止のための予防教育プログラムです。

参加者の声

おとなワークショップ

- 普段気付かないところにも気づかせてもらった。
- 子どもへの説明の仕方が参考になった。
- 自分が子どもの頃にしてもらいたかった事だと思いました。
- 専門職の研修として参加しました。自分の仕事に役立つ内容だと思った。

子どもワークショップ

- 劇が分かりやすく、その人の心を読み取れて、すごくうれしかった。
- 一人一人が、どんなに大切に分かりました。他の子にも教えてあげたい。
- CAPとは、いやなことがおきても大丈夫なことです。
- 自分たちにおきそうなことを、まとめて知れてよかった。

CAPプログラムは・・・

1978年にアメリカで作られ、他の国でも取り入れられています。日本では、1995年から実施されています。市町村からの委託やPTAからの依頼を受け保育園、小学校、児童養護施設などでプログラムを実施。おとなワークショップは、子どもに関わる専門職の方に向けた研修としても活用されています。



CAP(キャップ)東埼玉は

1997年に「東埼玉CAPを学ぶ会」を発足。2002年に「CAP東埼玉」として活動開始。主に埼玉県の一部地域を中心に活動しています。



CAPプログラムの提供のほか、子どもの教育、環境などさまざまな問題について語り合える仲間づくりをめざします。

私たちCAPスタッフは、毎年多くの子どもたちに出会います。その子どもたちにとって、CAPとの出会いは一生に一回のことかもしれません。その時間を大切に、CAPを届けたいと思っています。



[認定NPO法人CAPセンター・JAPAN 登録団体]

事務局

TEL:090-6177-6858



< ホームページアドレス >

<https://cap-higashisaitama.crayonsite.info/>

ホームページの「お問い合わせフォーム」をご利用ください

- 実施を検討中の方に向けて、CAPプログラムのデモンストレーションもおこなっています。
- ワークショップの費用については、お問い合わせください。

Child Assault Prevention

CAP 東埼玉

キャップ ひがしさいたま



子どもたちが いつでも どこでも
安心して 自信をもって
生きていくには

おとなワークショップ

暴力防止の観点から、子どもを支えるためには
どんなことができるでしょう。
CAP東埼玉では主催者のニーズに合わせた内容を
提供しています。

基本的な内容

- 子どもの人権
- 子どもワークショップの紹介
- おとなにできること
子どもを守るために知っておきたいこと
「子どもが被害にあった時」の対応
子どもを守る地域(コミュニティ)を作ろう



《以下のテーマから選択することもできます》

- 子どもの話の聴き方
～再現シーンで考えてみよう～
- しつけと体罰
- 知的障がいのある子どもの感覚体験
- 性暴力防止 ～自分の偏りを知ろう～
- 小学校にあがる前に知っておきたい10のこと
(保護者向け)
- その他・・・いじめなど

※ 詳細はご相談ください



子どもワークショップ

子どもたちが持つ大切な権利を伝えながら、
自分を守るためにできることを考えていきます。

小学生プログラムの内容

- 子どもの特別に大切な三つの権利

安心・自信・自由

- ロールプレイと話し合い

① いじめ

どうしたらいい?

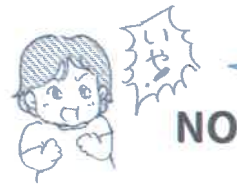
② 誘拐

「知らない人」に連れて行かれそうになった時

③ 性暴力

いやな触りかたをされたら?

- 自分を守るためにできること



「いや!」と
言ってもいい

GO

逃げてもいい
怖くなったら
特別な叫び声

TELL

相談することも
大切



おとなワークショップの種類

- 保護者・地域の方向け 120分
- 教職員向け 120分～150分
- 専門職研修 120分～150分

- * 子どもワークショップをおこなうためには
必ずおとなワークショップの開催が必要です
- * おとなワークショップのみの開催はできません



子どもワークショップの種類

- 就学前プログラム 50分×3日
(3歳以上・15人まで)
- 小学生プログラム 90分×1日
(クラス単位又は15人まで)
- 中学生暴力防止プログラム 100分×2日
(クラス単位又は15人まで)
- SNP 40分×3日 (10人まで)

※ スペシャルニーズプログラム・・・知的障がいのある子どもたちへのプログラム